



平成26年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ゼロ

コード番号 9028 URL <http://www.zero-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岩下 世志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 北村 竹朗

TEL 044-520-0106

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第1四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第1四半期	15,670	9.4	669	121.2	676	108.5	371	135.3
25年6月期第1四半期	14,329	8.0	302	△33.2	324	△28.6	157	△23.9

(注) 包括利益 26年6月期第1四半期 408百万円 (138.8%) 25年6月期第1四半期 170百万円 (△16.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第1四半期	21.73	—
25年6月期第1四半期	9.24	9.21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年6月期第1四半期	30,397	13,666	45.0
25年6月期	31,096	13,333	42.9

(参考) 自己資本 26年6月期第1四半期 13,666百万円 25年6月期 13,333百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	4.00	—	4.40	8.40
26年6月期	—	—	—	—	—
26年6月期(予想)	—	4.00	—	6.50	10.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,000	3.2	2,200	37.5	2,250	35.5	900	25.6	52.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年6月期1Q	17,560,242 株	25年6月期	17,560,242 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年6月期1Q	467,711 株	25年6月期	467,711 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年6月期1Q	17,092,531 株	25年6月期1Q	17,092,586 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高是正及び株価上昇の局面に入り、景気全般に関しては徐々に持ち直しに向かっており、輸出関連を中心に企業収益も改善の傾向を示しております。しかしながら、国内の雇用・所得環境は景気全般の好転に伴い改善してゆくと思われるものの、現時点では目立った改善はございません。また海外では、欧州の債務問題、新興国の経済成長の鈍化などの不安要素は引き続き大きく、企業の生産活動は依然として楽観を許さない環境下にあります。

自動車業界においては、国内新車の販売台数は前年同四半期連結累計期間（以下、前年同四半期という）比で102.3%（日本自動車工業会統計データ）となり、四半期単位では4期ぶりに前年実績を上回る好調な状態で推移しました。特に前年同四半期はエコカー補助金制度の効果で通常より高い水準にありましたが、それを上回る実績となっており好調さが際立っております。海外への輸出につきましても円高是正が進み、海外経済減速はあるものの対中関係悪化の影響は後退したことにより、新車輸出台数は前年同四半期比で103.6%と増加しました。一方、中古車市場は、好調な新車の販売状況を受け下取り車の増加などで活性化しました。内訳では、国内中古車登録台数は前年同四半期比で98.3%とやや低調な結果となりましたが、輸出中古車台数は前年同四半期比で125.0%と大幅な伸びを示しました。

こうした環境下で当社グループの主力セグメントである自動車関連事業においては、主要取引先である日産自動車の新車販売台数が業界平均を上回る台数で増加したことにより新車輸送上は増加いたしました。また、中古車に関しましても、地域に密着した営業活動の継続に加えて、輸送商品ごとのきめ細かい付帯サービスの提供により売上高を伸ばし、自動車関連全体の売上高は前年同期比で増加いたしました。一般貨物事業においては、昨年度中に事業の徹底的な見直しを行い、不採算事業からの撤退及び事業所の統廃合を進めた結果、売上高は前年同四半期比で減少する結果となりました。また、ヒューマンリソース事業は、景気の不透明感のある中で、積極的な営業活動および営業体制の強化により顧客開拓活動を強力に推進し、また軽作業派遣等の新規事業を積極的に新規エリアへ展開した結果、売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

自動車の国内流通に関連する台数

単位：台

国内販売	平成24年7月～平成24年9月	平成25年7月～平成25年9月	前年比
新車			
国内メーカー *1	1,330,587	1,361,622	102.3%
（うち日産自動車） *1	(163,186)	(180,389)	(110.5%)
海外メーカー *2	60,367	71,237	118.0%
中古車			
乗用車 *3	955,950	899,991	94.1%
軽自動車 *4	661,835	690,405	104.3%
中古車計	1,617,785	1,590,396	98.3%
永久抹消登録車 *3	78,901	64,099	81.2%

輸出	平成24年7月～平成24年9月	平成25年7月～平成25年9月	前年比
国内メーカー新車 *1	1,148,355	1,189,331	103.6%
（うち日産自動車） *1	(166,812)	(164,361)	(98.5%)
中古乗用車 *5	280,780	350,910	125.0%

*1 日本自動車工業会統計より算出 *2 日本自動車輸入組合統計より算出 *3 日本自動車販売協会連合会統計より算出

*4 全国軽自動車協会連合会統計より算出 *5 日本自動車販売協会連合会統計の輸出抹消登録台数より試算

以上の結果、当期における当社グループの業績は、売上高156億70百万円（前年同四半期比109.4%）、営業利益6億69百万円（前年同四半期比221.2%）の増収増益となりました。営業外損益を加味した結果、経常利益は6億76百万円（前年同四半期比208.5%）となり、四半期純利益は、3億71百万円（前年同四半期比235.3%）となりました。

①自動車関連事業

当事業においては、当社の主要取引先である日産自動車の国内販売の売れ行きは新型軽自動車の導入効果もあり、国内新車販売台数は180,389台（前年同四半期比110.5%）となりました。輸出台数は164,361台（前年同四半期比98.5%）の微減となりました。（日本自動車工業会統計データ）

この影響を受け、日産車の新車輸送については売上増となりました。また、日産以外の新車・中古車につきましても前年同期を上回り車両輸送の売上を増やすことが出来ました。又、大型車整備センターの能力増強に伴い、整備売上も拡大することが出来ました。これらの結果、売上高は121億52百万円（前年同四半期比113.6%）となりました。利益につきましては商品構成の変化、輸送距離の短距離化による悪化要素はあるものの、「中継輸送回数の削減による輸送品質の向上、納期の短縮、輸送コストの削減」の推進によりセグメント利益は7億55百万円（前年同四半期比136.4%）を達成いたしました。車両輸送事業は自動車販売台数が長期的に減少傾向で推移しているため厳しい環境下にあります。 「中継輸送回数の削減による輸送品質の向上、納期の短縮、輸送コストの削減」への取組みを更に徹底し、市場の需要に左右されずに確実に収益を生み出せる体質の強化を推進しております。

②一般貨物事業

当事業においては、主要取引先である家電業界の長期化する景気低迷に対し、昨年度中に事業の徹底的な見直しを行い、不採算事業からの撤退及び事業所の統廃合を進めた結果、売上高は10億22百万円（前年同四半期比70.3%）の大幅減となりましたが、セグメント利益は1億42百万円（前年同四半期比457.6%）と大きく改善いたしました。事業見直しの成果により収益性の高い構造に変革いたしました。

③ヒューマンリソース事業

当事業においては、顧客企業の活動状況が停滞していることから、派遣・請負料金の引き下げ要請、稼働時間の短縮、派遣・請負契約更新の打ち切りなどがあり、厳しい外部環境となっております。このような状況の中、当社グループは積極的な営業活動および営業体制の強化により顧客開拓活動を強力に推進し、また軽作業派遣等の新規事業拡大を積極的に新規エリアに展開しました結果、売上を増加させることができ、売上高25億68百万円（前年同四半期比114.9%）を確保することが出来ました。セグメント利益は、収益性の高い商品への活動比重を高めた結果、1億34百万円（前年同四半期比129.3%）となりました。

なお、上記報告セグメントに含まれていない全社費用（当社の管理部門に係る費用）及びのれんの償却額等は「3. 四半期連結財務諸表（セグメント情報等）」に記載の通り「調整額」の項目として計上しており、3億62百万円となります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ5億6百万円(3.9%)減少し、125億89百万円となりました。

これは主に、現金及び預金が4億12百万円減少し、貸倒引当金が47百万円増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億91百万円(1.1%)減少し、178億8百万円となりました。

これは主に、建物及び構築物が53百万円、リース資産が49百万円、のれんが82百万円減少したことによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ6億98百万円(2.3%)減少し、303億97百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ6億19百万円(6.4%)減少し、91億26百万円となりました。

これは主に、未払法人税等が3億円、賞与引当金が1億35百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ4億12百万円(5.1%)減少し、76億4百万円となりました。

これは主に、長期借入金が2億6百万円、退職給付引当金が1億37百万円減少したことによります。

この結果、負債は前連結会計年度末に比べ10億31百万円(5.8%)減少し、167億31百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億32百万円(2.5%)増加し、136億66百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が2億96百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年8月9日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,872	4,459
受取手形及び売掛金	6,868	6,864
たな卸資産	139	147
繰延税金資産	271	271
その他	985	935
貸倒引当金	△41	△89
流動資産合計	13,096	12,589
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,302	3,249
機械装置及び運搬具（純額）	188	178
工具、器具及び備品（純額）	66	63
土地	8,373	8,373
リース資産（純額）	1,409	1,359
有形固定資産合計	13,341	13,224
無形固定資産		
のれん	1,808	1,726
その他	427	469
無形固定資産合計	2,236	2,196
投資その他の資産		
投資有価証券	763	800
長期貸付金	105	94
繰延税金資産	777	744
その他	912	884
貸倒引当金	△136	△136
投資その他の資産合計	2,422	2,387
固定資産合計	18,000	17,808
資産合計	31,096	30,397

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,430	3,477
短期借入金	750	750
1年内返済予定の長期借入金	1,607	1,548
未払法人税等	574	274
未払消費税等	272	281
賞与引当金	406	270
その他	2,703	2,523
流動負債合計	9,745	9,126
固定負債		
長期借入金	2,041	1,834
退職給付引当金	3,029	2,892
役員退職慰労引当金	427	393
繰延税金負債	76	76
再評価に係る繰延税金負債	1,088	1,088
資産除去債務	41	41
その他	1,311	1,277
固定負債合計	8,016	7,604
負債合計	17,762	16,731
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,390	3,390
資本剰余金	3,204	3,204
利益剰余金	7,571	7,868
自己株式	△152	△152
株主資本合計	14,014	14,310
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15	16
土地再評価差額金	△705	△705
為替換算調整勘定	8	44
その他の包括利益累計額合計	△681	△644
純資産合計	13,333	13,666
負債純資産合計	31,096	30,397

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
売上高	14,329	15,670
売上原価	12,688	13,440
売上総利益	1,640	2,230
販売費及び一般管理費	1,338	1,561
営業利益	302	669
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取手数料	17	19
持分法による投資利益	4	0
その他	23	17
営業外収益合計	47	38
営業外費用		
支払利息	21	20
その他	3	10
営業外費用合計	25	30
経常利益	324	676
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	324	677
法人税等	166	305
少数株主損益調整前四半期純利益	157	371
四半期純利益	157	371

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	157	371
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
持分法適用会社に対する持分相当額	13	35
その他の包括利益合計	12	36
四半期包括利益	170	408
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	170	408

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車関連 事業	一般貨物事 業	ヒューマン リソース事 業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	10,686	1,446	2,196	14,329	—	14,329
セグメント間の内部売上高又は振替高	8	7	40	56	△56	—
計	10,695	1,454	2,236	14,385	△56	14,329
セグメント利益	553	31	103	688	△386	302

(注) 1. セグメント利益の調整額△386百万円には、全社費用△304百万円、のれんの償却額△82百万円、セグメント間取引消去0百万円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車関連 事業	一般貨物事 業	ヒューマン リソース事 業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	12,145	1,012	2,513	15,670	—	15,670
セグメント間の内部売上高又は振替高	7	10	55	73	△73	—
計	12,152	1,022	2,568	15,744	△73	15,670
セグメント利益	755	142	134	1,031	△362	669

(注) 1. セグメント利益の調整額△362百万円には、全社費用△280百万円、のれんの償却額△82百万円、セグメント間取引消去0百万円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

株式取得による子会社化について

当社は、平成25年11月14日開催の取締役会において、株式会社ワールドウインドウズ（以下ワールド社）の株式を取得し、子会社化することを決議いたしました。

1. 取得の理由

自動車関連事業においては新車・中古車ともに厳しい市場環境が続く中、当社グループとしましては車両輸送に関わる周辺ビジネスの取り込みを強化してきております。このような方針に基づき、平成24年12月には、海外への中古車輸出及び部品の輸出販売をスタートしました。この度、日本から中古車輸出が増加傾向にあるマレーシアへの中古車輸出を主力事業とするワールド社を子会社化し、中古車輸出のさらなる販路拡大を図ってまいります。

2. 株式取得の相手先の名称

盛 登喜雄氏、盛 紀美子氏

3. 買収する会社の名称、事業内容、規模

- | | |
|------------------|---------------------------------------|
| (1) 名称 | 株式会社ワールドウインドウズ |
| (2) 事業内容 | 中古車及び自動車部品の輸出・販売等 |
| (3) 規模（平成25年4月期） | 売上高 872百万円
総資産 572百万円
資本金 10百万円 |

4. 株式取得の時期

取得の時期 平成25年12月3日（予定）

5. 株式取得の概要

- | | |
|---------------|-----------------|
| (1) 異動前の所有株式数 | 0株(所有割合 0%) |
| (2) 取得株式数 | 200株 |
| (3) 異動後の所有株式数 | 200株(所有割合 100%) |